

平成26年9月七管内漁船海難 計5隻



【【 衝突:4隻

その他:1隻





【衝突海難の概要】

・ 漁船 A 丸は操業を終え、 魚網を揚収しながら 見張りを怠り航行した結果、貨物船に衝突した もの。

【その他の海難】

・漁船B丸は、出港後、自船の現在位置が分か らなくなり、自分の勘だけを頼りに航行した結 果、迷走状態に陥ったもの。捜索中の巡視船に 発見、救助された。【航海計器、連絡手段無し】

9月の漁船海難発生地点

漁船海難隻数 (速報値) 衝突 その他 合計5隻

県 別	(内訳)	
総数(H26.	1~8月)	今月
山口県	(4)	1
福岡県	(16)	1
佐賀県	(3)	0
長崎県	(36)	3
大分県	(15)	0

9月の漁船海難隻数は5隻と今年に入っ て最も少ないものでした。相変わらず、 見張り不十分の衝突海難がありますが、 見張りをしっかりと行い、この調子で海難 ゼロを目指しましょう!!

10/1~14において実施した小型船海難 防止強化運動時における漁船海難隻数 はなんと1隻のみでした!!(速報値) ※引き続き事故防止にご協力願います。

→ 漁船セーフティラリー実施中

☆漁船セーフティラリーとは?

漁協(支店等)を一つのチームとして、10月1日~12月31日の3ヶ月間、 無事故を宣言し、漁協一丸となって海難ゼロを目指そうという取り組みです。 無事故を達成した暁には、無事故認定証が渡されます。組合員一人一人 が海難防止意識を持ち、海難ゼロを達成しましょう!!

- ☆参加状況 ・山口県(西部)29漁協(50%)
 - ()内は各県の 参加割合です。
- •大分県27漁協(100%)
- •佐賀県14漁協(50%)

•福岡県6漁協(10%)

•長崎県1漁協(1%)

総数 77漁協(29%)

☆現在、参加全漁協、無事故継続中



